No.	
-----	--

(単位:千円)

平成22年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款 2.総務費 事	養名 5.ふるさと雇用再生	持別基金事業費		
項 1. 総務管理費 細事	業名 1.防犯パトロール事	業費		
担当 21. 諸費 担当	課·係 自治人権推進課	(執行課:	自治人権推進課)	

J # /J 1/1	咖的社员	机机子未		
	(歳 入)	(歳 出)		
要求額	12,105	12,105		
決定額				

西陆级费

単独事業

財源内訳	県支出金				一般財源
要求	12,105				0
決 定					

(実施計画における事業の概要) 【防犯パトロールに関する業務】

・犯罪多発地区や駐輪場などの公共施設を重点とした巡視、防犯啓発物品の配

・夜間の駅前、通学路、駐車場などの巡視

・犯罪発生時における警察への通報、負傷者の救護等

·防犯に関する軽作業を含む環境整備活動等(電柱幕。街区掲示板などの確認

新相重業

防犯キャンペーン等への協力

施策	水と緑に囲まれた、快適で安心して暮らせるまちづくり/安心して暮らせるまちづくり/警察等と連携し、地域の自主防犯活動を活性化させます。							
施策体系コード	02-04-01-10-10			事業番号				
総事業費	13,521千円			事業期間	平成22年度			
年度別事業費	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度			
十反別尹未貝	0	0	0	0	13,521			

(事業実施に関する根拠法令)

佐倉市犯罪のない安心して暮らせるまちづくり条例

佐倉市犯罪のない安心して暮らせるまちづくり条例施行規則

<事業に関する説明>

事業の説明)

予質公析

施

画

മ

内

本年、当市の犯罪発生件数が再び増加傾向を示すなかで、安全で 安心して暮らせるまちづくりを進めるため、犯罪多発地区や駐輪場 などの公共施設を重点とした防犯パトロールを民間業者等に委託する。 また、パトロール時には、犯罪が発生しづらいまちにするための 環境整備活動も実施する。

事業の目的)

犯罪発生の抑止を目的として、犯罪多発地区や駐輪場などの公共 施設を重点とした防犯パトロールを実施することによって、再び増加 傾向にある市内の犯罪発生件数を減少させる。

(事業の効果)

防犯パトロールを実施することによって、犯罪抑止が図られる。 また、電柱幕や掲示板などの確認等、環境整備活動を実施することに

より、犯罪が発生しづらいまちづくりが図られる。

事業実施上の問題点)

ふるさと雇用再生特別基金事業が平成23年度までの事業となって いるため、平成24年度以降の事業展開について検討する必要がある。 (前年度からの見直し点)

(見積についての特記事項)